



地域おこし協力隊通信

—第20回—

お祭りの取材で走り回っていた夏はあっという間に過ぎ、気付けば心地良い秋風を感じられる季節になってきました。今年の冬は雪が多くなると聞いて、秋が少しでも長く続けばと願っています。協力隊の任期も残すところ、まもなくあと1年間となります。私は、26年12月に着任したので、能代の春夏秋冬を楽しめるのもあと1回ずつとなってしまいました。

さて、協力隊の仕事をしていると、「能代のどこが好きなの？」と聞かれることがよくあります。

能代の好きなところはたくさんありますが、私は特に木都能代が育んだ「おもてなしの文化」が好きです。私は現在「お杉音頭を伝える会」に所属し、能代に古くから伝わる手踊りを習っています。木都能代の最盛期には、大勢のお客様が来ていました。そのお客様をおもてなし（接待）するために、料亭や宿場、芸事が普及していったそうです。私は踊りの会の一員になったことでこのことを知ることができました。能代には昔から「おもてなしの文化」が根付いていたんですね…。



「お杉音頭を伝える会」の皆さんと (旧料亭金勇)

「おもてなしの街」能代
また、新たな能代の魅力を見つけることができました。これからも手踊りを通して木都能代の「文化」や「歴史」が、次の世代へ伝わっていくことを願っています。

能代市地域おこし協力隊ホームページ

<http://www.shirakami.or.jp/noshirop/lanets/>

問合せ

市民活力推進課

☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.61

誘致企業編

革新をつなぐ、未来へつなぐ

住鉦テック株式会社

能代工場

今回は、能代工業団地で平成8年に操業した住鉦テック株式会社生産本部能代工場を訪問し、工場長の越智信之さんにお話を伺いました。どのような会社ですか。

各種電気・電子機器を接続する端子・コネクタを製造しています。

本社は横浜市にあり、工場は能代工場と仙台工場の2つです。国内の主要都市には営業所があり、静岡県に物流センター、中国にも拠点を構えています。

能代工場は操業当初、電気製品のコンセント部品を主に製造していましたが、現在は自動車の各種電子機器などの接続端子・コネクタの製造が主となっています。

能代市での操業となった理由を教えてください。

親会社の住友金属鉱山の精錬所が旧八森町にありましたが、経営統合などによりこの

精錬所が廃止され、跡地で私たちの会社の前身となる会社の一部が事業を営んでいました。そのご縁で、平成元年に関連会社を能代工業団地に設立。平成4年に本社工場を移



高品質、効率化に対応した設備

転し、平成8年に企業合併により現在の名称となりました。今後について。

自動車産業の好調にけん引され新規受注も増加しており、国内2工場とも手狭になってきました。今年度、能代工場の敷地内に新たな工場を建設し、自動車の自動運転などの高度な技術に対応した製品を受注、生産していきます。

さらなる成長に向けて、地元優秀な人材確保に努めたいと思っています。

—社員からひとこと—

製造課金型調整担当

岸部悠平さん

(田子向)



高校卒業後、この会社に入社し10年目になります。地元就職を希望し求職活動していましたが、賃金や休暇などの待遇面もよく、また、高校の先生の勧めもあり就職試験に挑みました。就職できて本当に良かったと思っています。

今は製品を作るための金型調整を担当しています。入社したころに比べると、だいぶ責任のある仕事を任されるようになりました。細かい作業の毎日ですが、やりがいを持って働いています。



【会社概要】
能代工場長 越智 信之
所在地 能代市扇田字扇淵12-6
☎58-3500
操業年 平成8年
事業内容 電子・電気機器用各種端子、コネクタの製造など